

第13回「エネルギー利用」技術作品コンテスト

審査方法と審査基準

主な日程

募集期間：平成22年8月20日(金)～9月16日(木)必着
一次審査：平成22年9月26日(日)予定 宮城教育大学
二次審査：平成22年10月23日(土)予定 宮城教育大学
展示会：平成22年12月11日(土)～12月12日(日) 仙台市科学館
表彰式：平成22年12月12日(日) 仙台市科学館

一次審査の方法

一次審査では、一次審査委員会の委員が、応募者から提出された応募書類の「説明その1」、「説明その2」を一次審査基準に基づき審査を行います。

一次審査基準

一次審査では、以下の基準で審査を行います。

- (1)：作品自体の独創性やその製作過程で工夫し、創造した様子が分かる。
- (2)：製作の動機や使用目的が明確である。
- (3)：身の回りのエネルギーを利用する作品になっている。
- (4)：作品のアイデアや構造、含まれている技術的な観点が、図や写真などを活用して論理的にわかりやすく説明されており、仕上がりが粗雑でない。
- (5)：作品を展示するとき、作品を操作するときに安全である。

二次審査の方法

二次審査では、二次審査委員会の委員が、一次審査通過者から送付された現物をみて、一次審査の結果と合わせて二次審査基準に基づき審査します。

二次審査基準

二次審査では、一次審査基準に加えて、以下に示す各賞の選考の観点から審査を行います。

文部科学大臣賞

技術教育への寄与が顕著である作品（技術教育振興の観点）	中・高の個人・団体各2点	計4点
技術教育への寄与が顕著である作品（工夫・創造技術の観点）	中・高の個人・団体各2点	計4点

経済産業省製造産業局長賞

小・中・高 各1点

産業を意識し創意工夫に優れた作品

特許庁長官賞

小・中・高 各1点

製作過程で工夫し創造した様子がわかり、発明につながる優れたアイデアを含んだ作品

中小企業庁長官賞

小・中・高 各1点

技術的なものづくりの振興並びに技術教育振興への寄与が顕著である作品

独立行政法人科学技術振興機構理事長賞 科学技術並びに技術教育への寄与が顕著である作品	小・中・高 各1点
日本産業技術教育学会会長賞 技術教育研究への寄与が顕著である作品	小・中・高 各1点
全日本中学校技術・家庭科研究会会長賞 中学校における技術教育実践への寄与が顕著である作品	中 若干数
社団法人日本機械学会会長賞 創造性を発揮して、機械に関わる物として製作を行い、学術的にも優れている作品	小・中・高 各1点
社団法人電気学会会長賞 創造性を発揮して、電気に関わる物として製作を行い、学術的にも優れている作品	小・中・高 各1点
社団法人軽金属学会会長賞 創造性を発揮して、アルミニウムやその合金等に関わる物として製作を行い、学術的にも優れている作品	小・中・高 各1点
社団法人全国中学校産業教育教材振興協会会長賞 中学校における技術教育への寄与が顕著である作品	中 1点
社団法人大阪科学技術センター会長賞 科学技術・産業技術を効果的に使用し、夢のあるアイデアを含んだ作品	小・中・高 各1点
社団法人日本アルミニウム協会会長賞 アルミニウムの有する優れた性質を活かした作品	中 1点
日本産業技術教育学会奨励賞 アイデアが豊かで工夫されている作品	若干数
日本産業技術教育学会努力賞 技術の学習に熱心であったと認められる作品	若干数
日本産業技術教育学会特別賞 本コンテストを通じて技術教育の振興に功績があった指導教諭	若干数